

“できない”を“できる”に——。
そのための仲間が、ここにいる。



命に向き合い、
あなたの想いを看護で
実現できる病院

看護部理念

私たちは地域の人々の
健康生活支援のために
質の高い看護の実現を目指します。

命を守る

生活を
支える

地域へ
つなぐ



輝いている先輩看護師たちと働く——。



がん化学療法看護 認定看護師

中王子 美保

看護人生30年、与えられたチャンスとステップアップ支援に感謝しています

最近は告知を外来で行い、その数日後にがん薬物療法が開始されることが多くなりました。疾患や治療にたいして強い不安があっても家族の前では泣くこともできないままの患者さんもみえます。そんな時は家族がいないタイミングで声をかけるなど、患者さんに細心の注意を払った支援が大切です。私が認定看護師を目指すきっかけは高校の恩師ががんで入院してきたときの経験です。私は薬物療法を受けている先生に看護師として何も支援ができなかったのです。それでも先生は私が訪室するとシャキッとされて、足を洗っている間などに懐かしい話をしてくれました。先生は亡くなりましたが、あの時専門的な知識があればもっとできる支援があったのではないかと悔しさが残りました。この先ずっと看護師を続けるにあたり自分に特化した能力を身につけたいと思ったのです。その時の上司に相談して認定看護師を目指すことにしました。私は職場の環境、周りで支えてくださったスタッフにも恵まれ、これまでに認定看護師だけでなくシステム開発など様々な分野に挑戦してきました。チャンスやステップアップの支援も多くあり、人が成長しやすい職場環境だと思います。

脳卒中リハビリテーション看護 認定看護師

三田 洋希

患者さんに寄り添いながら、ともに成長の喜びを分かち合ひましょう

私は身体が大きい割には病弱(小児喘息など)で病院に通うことがありました。そのことがきっかけで、身近で魅力的な職業だと思い、この現場を選び今があります。現在は、病棟責任者(病棟課長)としてプレッシャーもありますが、覚悟して自分に向き合える機会があることは重要です。病棟スタッフがいい仕事をしてもらうために環境を整えることが私の仕事です。また、男が看護師を職業とするならスキルとして何かあってもいいかなという漠然とした思いがありました。最初の配属が脳神経外科という巡りあわせで、脳疾患を抱える患者さんの看護に強く興味を持ち、脳卒中リハビリテーション看護の認定を取得しました。脳神経を損傷した患者・家族の擁護者となり、寄り添った看護を目指しています。男性も女性も分け隔たりなく、患者に寄り添う看護が大切です。大変ですが、自分の人生にかえて来る、人間としての成長にもつながる職業だと思っています。



看護師歴10年

辻 未希

素敵な仲間がいるやりがいのある職場です

私はICU・HCUを経験し、現在は循環器センターで働いています。心不全・心筋梗塞・弁膜症などの循環器疾患や形成外科の患者さんの療養のお世話の他、主に検査・治療後の観察・看護など退院に向けた生活指導をおこなっています。看護師を目指したのは“人の役に立てる”という職業に以前から憧れがあったからです。忘れられないのは、大動脈乖離の患者さんが入院された際に、筋力低下があり立位も不安定な状態だったのですが、理学療法士と連携を図りながら対応するうちに一人で立てるようになり、その後患者さん自らが自主的にリハビリを行うようになりました。退院時にはうれし泣きをされる姿を見て、本当にやりがいのある仕事だと改めて実感した出来事でした。日々の仕事で不安なこともあります。先輩方に相談すると親身になって対応していただけますので安心して仕事に打ち込める環境だと思います。

看護師歴14年

森 陽子

働きやすく、育児と両立しながら多くを学べる職場です

私は、二人の子どもを育てながら当院に勤務して14年目になります。業務は、通院治療センターでのがん患者さんのケアが中心で、17:00までの勤務時間帯や子育て経験のある先輩からのフォローもあり働き続けております。現在の職場は、がん患者さんが多く、中にはコントロールが難しい方もみえます。訊かれたことに答えられないかもしれないという不安もあると思いますが、正直に伝える事が大切です。そうすることで患者さんから逆に学ぶ事もあり、お互いに心を開く事で信頼関係が生まれます。話を聞いてもらえるだけでいいと言われた時ほど頑張らなくて、と思います。「看護」という職種は大変ですが何より心のこもった感謝の言葉を多くいただけるという、何にも変えられない素晴らしい職業だと実感しています。



後輩看護師の声

1年目

有働 美佐子

今まで働いていて嬉しかったことは寝たきりで身の回りのことは全介助で入院してきた患者さんが自分で歩けるようになって退院していくところがみられた事です。やりがいを感じる瞬間は患者さんや家族に感謝の言葉を伝えられた時です。常に心がけていることは謙虚で丁寧な姿勢と言葉がけです。大変な事や辛いことも多いですが自分がなぜこの職業を目指したかを大切にしています。そんな私の思いを先輩がすぐ近くで支えてくれる環境だから頑張れます。

2年目

久保田 愛菜

現在、中央採血室で勤務しています。上手く採血が出来なかったときは、ショックを受けることもありました。難しい血管の患者さんの採血が1回で採れた時に「1回で入る事なんて無いから良かった。全然痛くもなかった、ありがとう」と言ってもらえた時に、本当に嬉しくて患者さんから勇気と自信を頂きました。だからどんなに忙しくても仕事の効率を考えながらも、患者さん一人一人に丁寧な声かけをするようにしています。いきいきと仕事をしている当院スタッフの姿に、私も仲間になりたいと入職を決めました。そんな私ですが、なかなか自分自身周りに相談できない事もあり、辛い時期がありました。その時に1人で抱え込まない事の大切さを実感しました。不安や悩みは、誰かに頼って相談しましょう。支えてくれる仲間がいます。当院は研修が充実しているのももちろんですが、他職種とのコミュニケーションも図りやすく、患者さんを多方面から捉えた看護が学べることをぜひアピールしたいです。

7年目

小松 亮平

脳神経外科病棟に勤務しています。私には目指す先輩がいます。彼に何を聞いても戻るところが正確なので、彼が語ることには説得力があります。自分もあんな看護師になりたいし近づきたいと思っています。入社後から男子会を通して、いろいろな場面で親身に相談に乗ってもらう機会がありました。今年から初めて一緒に働くことになり、近くで多くの事を学ばせてもらえるチャンスと思っています。

勤務体制

①均等割2交代制

②変則2交代制

※多様な勤務形態に対応できます



福利厚生

休日:週休2日(土・日・祝日)

※諸手当・保険:各種そろえています

●看護師住宅

グレース100室

オートロック、エアコン、ウォシュレット完備

バス・トイレ別



●保育所(かもっこ保育園)

定員60名、0~満3歳まで

月曜日~金曜日は夜間保育あり、夜勤明け保育可、

セキュリティ完備、第2子以降同時入所可



●その他

職員旅行、クラブ活動、クリスマスパーティー など



職員旅行



男子会



バレー部



クリスマスパーティー

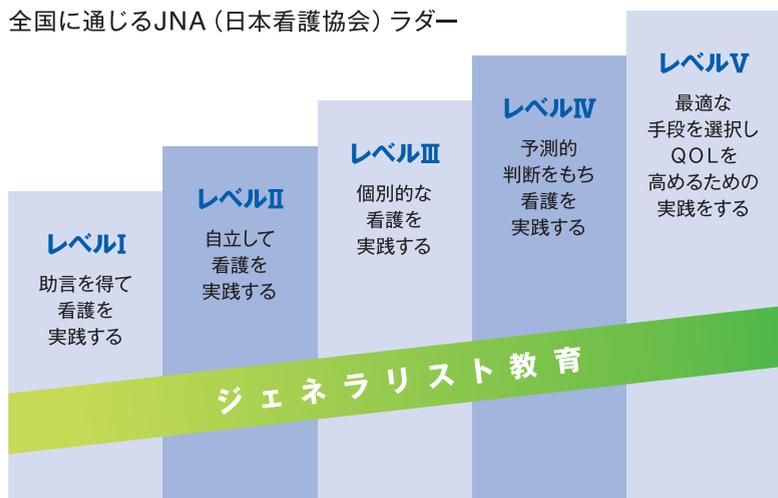
教育体制

多くの人に支えられ、そして誰かを支え成長していける教育を実践しています。



クリニカルラダー

全国に通じるJNA（日本看護協会）ラダー



看護体制

PNS：パートナーシップ・ナーシング・システム

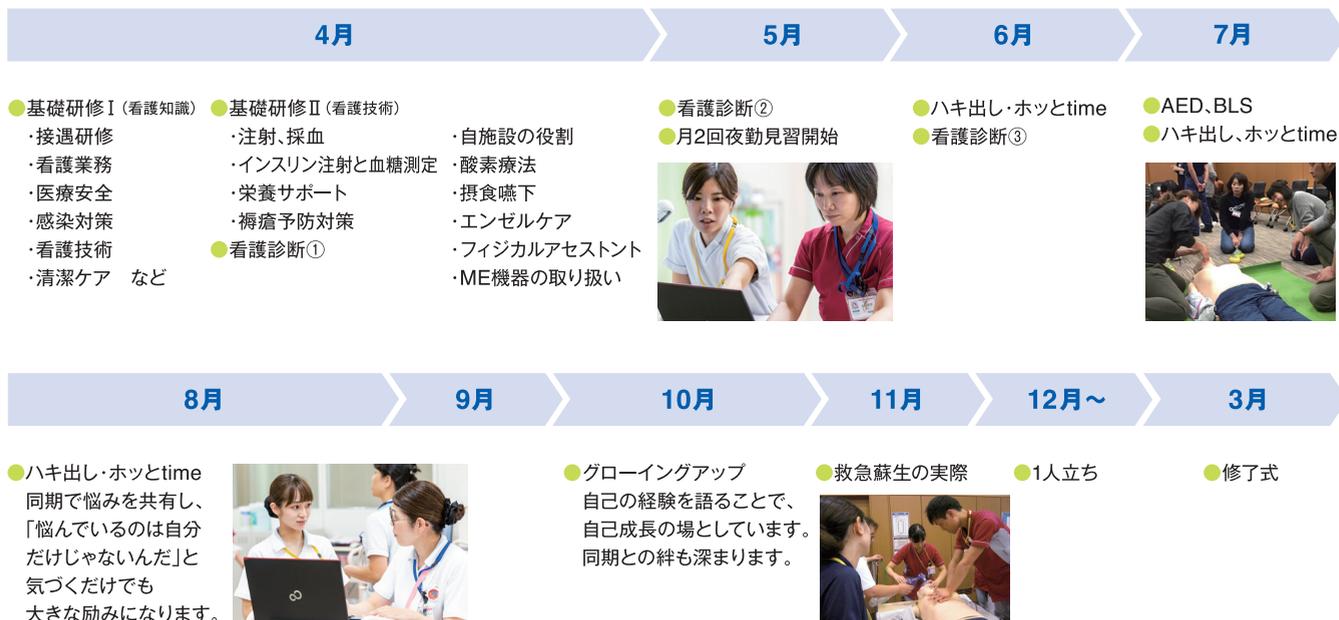
みんなできない事が違う、支える仲間がここにいる。
安心安全な看護体制



成長

- 1 組織人として立場と役割にあった成長ができる
- 2 高度急性期医療に対応できる看護実践ができる
- 3 急変に対応できるスキルが身に付く
- 4 がんに対する専門的知識・技術が身に付く
- 5 地域へつなぐ継続した看護ができる
- 6 認定など、各分野で特化した資格が取得できる

新人教育年間スケジュール





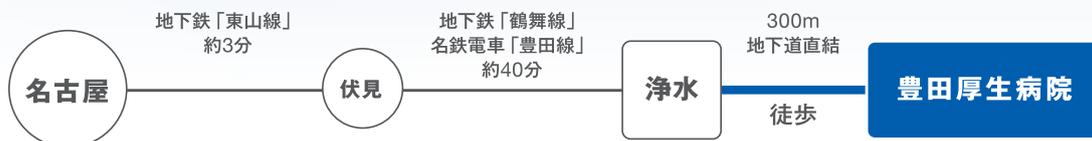
愛知県厚生農業協同組合連合会
豊田厚生病院

〒470-0396 豊田市浄水町伊保原500-1

TEL (0565) 43-5000 FAX (0565) 43-5100

E-Mail tk-kango@toyota.jaaikosei.or.jp

URL <https://toyota.jaaikosei.or.jp/>



就職説明会および施設見学について

就職説明会および施設見学を実施しています。
開催日程・申込方法・当日のプログラム等については、
別紙ちらし又はHPをご覧ください。



詳しくはこちらへアクセス ▶

採用に関する問い合わせ先

〒470-0396
豊田市浄水町伊保原500-1
豊田厚生病院 看護管理室

TEL 0565-43-5000 (代表)

FAX 0565-43-5100 (代表)

E-Mail tk-kango@toyota.jaaikosei.or.jp

受付時間
平日8:30~17:00